

創造活動支援事業報告書【たたき台】(OS 物流さんをイメージ)

1 事業記録

(1) 事業概要

- 障がい者がアート活動に参加しやすい環境整備のために多くの人にパラリンアートの素晴らしさを知ってもらったり、身近に感じてもらうことを目指し、日々運送業を営む当社のトラックの両サイドにパラリンアートを印刷して、日常の中でパラリンアートに触れてもらうアートプロジェクト。

(2) 実施体制

- OS 物流株式会社
 - ・代表取締役社長 高谷泰士、営業企画部長 高橋正明が中心となり活動
 - ・絵の選定については、パラリンアート事務局と連携
 - ・当社車両への印刷はトータル企画株式会社と連携
 - ・その他当該取組に賛同いただいた企業と連携し、本事業で活用している 11 トントラック以外に 4 トントラック 1 台、2 トントラック 1 台にもパラリンアートを印刷するに至っている。

(3) 具体的な事業の実施内容（日付ごと）

時期	実施内容	実施場所
7 月 4 日	パラリンアートの絵の選定	OS 物流株式会社
7 月中	関係企業に当該プロジェクト参加を打診	
8 月 9 日	トラックへのパラリンアート印刷完了し、当該トラックで運送開始	
8 月 22 日	2 号車（4 トントラック）完成	
8 月 28 日	3 号車（2 トントラック）完成	
10 月 19 日～ 10 月 20 日	いきいきウェルネスフェア 2024 に出展。 業界紙物流日本の取材を受けるとともに、選定した絵の作者友民さんにもトラックを見ていただいた	アクセスサッポロ

(4) 本プロジェクトに関わった方の概要とその関わり方

ア 参加アーティストとその支援概要

- パラリンアート事務局を通じて、当社で札幌市のアーティスト 1 名（友民さん）と市外のアーティスト 1 名を選定。

イ その他関わった方々とその関わり方

- トータル企画株式会社
パラリンアートのトラックの印刷を担当
- 極東高分子株式会社
2 号車の作成に当たって、一緒にプロジェクトに参加していただいた
- 北海紙工業株式会社
3 号車の作成にあたって、一緒にプロジェクトに参加していただいた

2 採択事業の評価

(1) プロジェクトの成果や課題

ア プロジェクトの成果

- 事業開始から、当社のトラックを見た子どもたちからは、「絵本みたいなトラックだね」と喜ばれ、荷主の方々からも「うちの荷物をこのトラックで運んでくれるのはありがたい」と言われ、当社職員も注目を集めるトラックを大事に乗ろうという気持ちが醸成されている。
- また、業界紙からの取材や荷主の方々の中にも当該プロジェクトに参加してくれる企業が生まれるなど、想定以上に成果が出ていると認識。

イ プロジェクトをやって難しかったことや今後の課題

- 現状においては、特段の課題は無いが、継続することが一番大切と考えている。
- また、同じ想いの人たちがいると感じていることから、この取組を知ってもらって、仲間を増やしていくことが大切と考えている。

ウ 課題に対する考え方

- 札幌市と組んでやったということも、この事業がうまく進んでいる要因と考えていることから、広報等での協力も引き続き受けながら、この取組を拡大していきたい。

エ プロジェクトを実施したことにより成長した部分

- 当社は小さな運送会社でしかないが、この事業をきっかけに取組みを始めたことで様々なところで良い反応を頂いている。
- これまで自分たちが関わらなかったところからも声をかけていただくなど、新しいつながりが生まれていると感じている。

(2) 指標等

ア 活動指標

◆ 支援対象となったアーティスト数

2名（【札幌市内アーティスト】、【市外アーティスト】）

◆ 他分野の関係者（団体）数

5社

イ 成果指標（行動変容に繋がる意識の変化）

◆ イベント参加者の意識変化の数

数字では取れていないが、多くの子どもたちや当社のトラックを見た人たちからはお褒めの言葉をいただいている。

◆ アーティストの意識変化の数

対象外（すべての指標が取れるわけでは無いと思うので、対象外も想定）

◆ 関係団体の意識変化の数

3社

当該3社はこの取組までアートを活用した取組には関わってきていなかったが、今回の取組に前向きに取り組んでおり、意識変化を起こっている。

ウ 成果に関連するエピソード

- ☐ 2 - (1) - アに記載のとおり。

エ その他当該事業を評価する指標等

- ☐ 作品を掲載したトラックの走行距離
3,500 k m (8 月 19 日～11 月 29 日)

3 制度への所感

(1) 創造活動支援事業を活用した事業を行った結果、当該制度の良いと感じた点

- ☐ アートを活用した取組であれば対象になるという事業であることから自由度が高く、事業者のアイデアを生かしやすい制度と感じた。

(2) 創造活動支援事業の制度的課題や改善案

- ☐ 広く知らしめる為、募集 PR の仕方を考えた方がいいのではないのでしょうか

(3) 事務局やアドバイザーによる運営・支援への所感

- ☐ レスポンス良く対応して頂けたと思います。

4 今後の展望

(1) 採択事業の今後の展望

- ☐ 現状、順調に取組が進んでいることから、無理せず継続して、仲間を増やしていくことを目指したい。

(2) 創造活動支援事業の今後の展開に関する意見・要望

- ☐ 事業の継続と各部署との連携をお願いしたいと思います。

5 その他（自由記載）

- ☐ 札幌市の文化芸術創造活動支援事業でトラックアートプロジェクト（パラリンアートを印刷）、更にいきいきウェルネスフェアにも出展が決まり、株式会社物流ニッポンからの取材を受け、11 月 1 日の記事に掲載されました。
- ☐ アーティストからは「自分の絵をトラックに印刷して頂けるという話を聞いてびっくりした。実際に見てみると想像より大きくてとてもうれしい。このトラックが街を走ってたくさんの人に見てもらえると思うと励みになる」と話しをして頂きました。